

学校の教育目標 楽しい学校をめざして 自ら考え 助け合い つくりだす子



今渡南小だより

令和3年 4月 30日発行
第2号
可児市立今渡南小学校
TEL62-1366 FAX62-1367

① 命を守る

「えがおのいまみ」を合言葉に、令和三年度がスタートしました。子どもたちのこれまでの学校生活は、学校のホームページで紹介していますので、ぜひ、ご覧ください。

今回の学校だよりでは、学校の取組、「えがおのいまみ」の「い」について紹介します。市の教育の根底に、「子どもの命を守る」ことが掲げられているように、本校でも、「えがおのいまみ」の「い」は、「命を守る」です。重点は三つあります。

一つ目は、「交通ルールを守る」ことです。登下校においては、周囲の状況を見ながら安全に通行し、特に交差点や見通しの悪い曲がり角などの危険箇所では確実に安全確認ができるようにしていきます。具体的な指導としては、例えば、交差点などの写真を示し、通行する際に気を付けることは何かを問いながら、安全に通行する上でのポイントをみんなが理解できるようにします。また、休日などでは、自転車に乗る時にはヘルメットをかぶること、路上でジェイボードに乗らないことなどの呼びかけをします。市内では1年ほど前に小学生がスケートボードのような遊具で遊んでいて、信号のない三差路で交通事故に遭い重傷を負うということがありました。危険な遊び方をしないようご家庭でもお子さんによく話をしていただくようお願いいたします。

二つ目は、「学校で怪我をしないようにする」ことです。私もそうでしたが、保護者の皆様の中にも、小学校時代にはよくひじやひざにかさぶたを作っていた方がいらっしゃると思います。避けられない怪我があれば、避けられる怪我もあります。遊び方を見つめ直し、予想される怪我を避けようとしたり校内での過ごし方を考えたりすることを通して、廊下の曲がり角でも通学路の見通しの悪い交差点でも、見えない先に何かがあるかもしれないと考え、安全に行動する習慣を身に付けることができるようにします。その積み重ねが、危険を回避する力の育成につながると考えます。

三つ目は、「感染予防をして、病気にならない」ことです。コロナ禍により毎日マスクを着用し、手洗いや消毒をする回数が増えています。その結果、毎年、冬季を中心に流行していたインフルエンザは、昨年度は児童、教職員の誰一人かかることがありませんでした。新型コロナウイルスが未だ衰えない現在、引き続き警戒をしていくこととなりますが、他にもインフルエンザ、ノロウイルスなど、気を付けるべきものはたくさんあります。新型コロナウイルス予防で、口内や手指を清潔に保つ習慣ができてきていますので、生涯にわたって健康で過ごそうとする気持ちを高めていきたいと考えます。

他にも、命を守る上で大事なこととして、「いじめ」の問題があります。本校でも、いじめはこの学校、どこの学級でも起こり得るものという前提で構えています。いじめへの取組は、「えがおのいまみ」の「い」の中には入っていませんが、「み（みんなが笑顔）」の中に入っていますので、いずれの機会に取り上げていくことにします。

間もなく始まるゴールデンウィークでは、感染のリスクが高いといわれている行動を避け、交通安全に気を付けながら楽しく過ごし、5月6日には元気に登校することを願っています。

えがおの いまみ

① 命を守る

交通ルールを守ります

校内や外遊びでけがをしないようにします

感染予防をして、病気にならないようにします